

令和4年度第8回庁議 会議録

[日 時] 令和4年12月26日（月）10時00分～12時00分

[場 所] 庁舎応接会議室

[出席者] 市長、副市長、教育長及び各部局長
議会事務局次長及び農業委員会事務局次長 代理出席

[会次第]

- 1 市長あいさつ
- 2 議 題
(1) 令和4年度重要事業及び懸案事項の進捗管理について（各部局）
- 3 協議事項
(なし)
- 4 連絡事項
(なし)
- 5 その他

1 市長あいさつ

先日、12月議会が閉会し、今年もいよいよ残り6日となった。各部局、各課所におきまして、今年やり残したことは無いか、今一度確認いただくとともに、準備万端で新しい年を迎えることができるよう、対応をお願いします。

本日は、「令和4年度重要事業及び懸案事項の進捗管理」について、11月末現在での進捗状況、今後の予定について質疑をさせていただく。

その他、連絡事項等があれば連絡していただき、本日の庁議は、12時00分に終了することを目指す。

2 議題

- (1) 令和4年度重要事業及び懸案事項の進捗管理について (各部局)

市長	それでは、議事に入る。 「令和4年度重要事業及び懸案事項の進捗管理」について、前回は、8月29日開催の第5回庁議において、7月末現在での状況を報告いただいた。 今回は、その後の進捗状況、今後の予定について、11月末現在
----	---

	<p>の進捗状況について、既に入力した資料をいただいているので、入力内容をもとに私と副市長から質問させていただく。</p> <p>まず、企画部について何か質問、意見は無いかな。</p>
原副市長	<p>「スマートシティの推進」の項目で、マルチタスク車両として行政と福祉の2台の車両が納車され、福祉の方は年明けには機器を入れたりするので、他課が使うことはなかなか難しいかもしれないが、行政車両の方は、期日前投票を行ったように、他課がアイデアを出して活用することが出来るのか。</p>
企画部長	<p>出来る。福祉車両の管理については福祉部にお願いするが、行政車両については、総合政策課が窓口となる。利用については、こちらからも調査はするが、既にマイナンバーカードの申請で利用しているように、使いたいという要望があれば相談していただき、どんどん使っていただきたい。</p>
原副市長	<p>「移動市役所」という扱いで積極的に利用方法を検討していただきたい。</p>
教育長	<p>どんなことが出来る車両なのか。</p>
企画部長	<p>オンライン通信が利用できる車両なので、これまでの実績だとマイナンバーカードの申請受付や期日前投票を実施した。</p>
総合政策課長	<p>これまで、大島で住民票を発行するには、受付から発行までに数日必要としていたが、通信機能により、即時発行ができるようになる。そのほか、消費相談等でも使っていただけたらと考えている。</p>
原副市長	<p>福祉の車両は、福祉部メインではあるが、例えば危機管理でも使用できるのではないかと考えている。</p>
企画部長	<p>車両の所管など、詳細については、整理して庁内に通知するつもりである。</p>
市長	<p>購入しただけでなく、どう使うかが大事なので今後の展開に期</p>

<p>加藤副市長</p>	<p>待する。</p> <p>「企業版ふるさと納税の拡大」については進んでいないので、結果を出すこと。企業によって事業年度、つまり決算時期が違うので、会社ごとに決算時期を見極めて依頼しないと効果が無い。各社同じような時期に同じようなアプローチにならないように検討すること。</p> <p>「広聴機能強化」であるプチモニのアンケートについては、施策への反映が必要なので、予算が不要ですぐに対応できるものがあれば対応を急ぐこと。</p> <p>このアンケートについてもアンケートを取ること自体が目的ではないはずである。何が目的であるかを明確にして進めてほしい。</p> <p>次に、「シティプロモーションの推進」で、ユーチューバーの移住体験動画を作成したが、これの反応はどうか。</p>
<p>企画部長</p>	<p>具体的なコメント等について、目立ったものは聞いていない。</p>
<p>加藤副市長</p>	<p>せっかく作ったものなので活用したい。</p> <p>次に、「SNS等を活用した情報発信力の強化」で、情報発信に対する職員の意識啓発とあるが、これについては、全部局、一人ひとりが広報マンであることを念頭においてしっかりとした広報を実施してほしい。</p> <p>広報する観点は、“自分が知ってもらいたいこと”を出すのではなく、“市民が知りたいであろう情報”を出すという観点でやってほしい。極端に言うと、「〇〇会議がある」というだけの情報は知りたくもない。しかし、その会議でこういうことが話題になっているというものがあれば、そういう情報は需要がある。そういった感覚で部局長をはじめ、職員一人ひとりが意識付けできるよう、部局長には部下職員を指導していただきたい。</p>
<p>市長</p>	<p>「広聴機能強化」でのアンケートはたくさん実施しているが、それを生かした新たな事業まで進んでいない。各部局に通じるが、アンケート内容そのものについて、企画部でまとめる際に、具体的な目的を持って実施したほうが良い。例えば、「太鼓祭りについて市民はどう思うか」など。</p> <p>次に、「庁内業務のデジタル化」について、AIを活用した議事</p>

	録作成システムの導入があるが、早く導入してほしい。
企画部長	議会は既に行っているが、今年度中に導入できる。
市長	議事録作成には手間と時間がかかっていると思う。一般の検討委員会など各種会議で早く利用できるようにしてほしい。 ここに記載はないが、申請業務のデジタル化はどうなっているのか。
企画部長	今年度中に出来る予定である。
市長	「近代化産業遺産群の面的活用」で周遊ルートはまだ出来ていないのか。
加藤副市長	市内周遊については、マイントピア別子で旅行商品として出来るように検討している。
市長	進んでいないので、是非お願いします。
原副市長	私からもう2点。 まず、プチモニの件について、これは去年のツレテクで提案され、若い世代の声を聴こうということで、「30秒で市政に参加」というコンセプトのもとで実施された。しかし、質問が長々としているものもあったので、質問内容については、工夫してもらいたい。 加えて、若い世代、ターゲットに応じて、子育て拠点などにQRコードを置くということだったが、先日あかがねミュージアムに行ったときには置かれていなかった。アンケートを単にホームページやLINEで募るだけでなく、若い人が集まる場所でターゲットに応じたQRコードの掲示していただくよう、運用してほしい。 次に、スマートシティについて、これまで協議会において、みまもり実証など、様々な実証実験を行ってきたと思うが、その結果、何が分かって、何ができなくて、どういった問題があるか、という点をまとめていただきたい。 行政と民間との役割分担というか、明確な司令塔がないのか

	<p>もしれないが、せっかく実施していることがうまく伝わらない、まとまらないということにならないように、きちんと整理してほしい。</p>
市長	<p>プチモニは十分頑張ってくれているが、それだけでなく、回答数は少ないかもしれないが、不特定多数向けに市から発信するアンケートも並行して実施してほしい。</p>
原副市長	<p>長期総合計画でのアンケートなどでも、答えてくれるのは60代以上の方が中心になってくる。</p>
市長	<p>次に、文化スポーツ局について、私から1点。 先日担当にも伝えたが、文化センターと総合運動公園、この2つをどのように進めていくのかということを決めなければいけないので、それぞれの完成までの具体的なスケジュールというものを作成していただき、共有したい。 他に無ければ総務部に移る。</p>
加藤副市長	<p>360度評価を実施したが、その結果に対し、どのように評価しているのか。</p>
総務部長	<p>回答入力期間の延長や再度の呼びかけも行ったが、回答率が67.86%だったので、もう少し回答率を上げ、出来れば9割以上の回答率となるように精度を上げて、360度評価を充実したものにさせなければならないと思っている。</p>
加藤副市長	<p>電子決裁率は今どのくらいか。課所室ごとに全然違うのか。</p>
総務部長	<p>今は全体で15%である。昨年度は14%だったので、上がってはいるが、今年度の20%という目標は、なかなか難しい。 課所室ごとの電子化率にもかなり差がある。四半期ごとで電子化率を公表しており、次回は12月末時点での公表になるが、9月末時点では、60%を超えているところもあれば、1桁台のところもある。</p>
加藤副市長	<p>電子化率の差が出るのはある程度は仕方ないが、せっかく制度</p>

	<p>があるのに利用しなければ意味がないので、その差を出来るだけ均して全体の稼働率を上げてほしい。</p>
市長	<p>電子決裁の話がでたが、今、文書事務が乱れているのではないかという話を聞く。起案者の問題もあるが、上司のチェックも出来ていないのではないか。文書事務は研修しているのか。</p>
総務部長	<p>研修は実施している。 所属長において、改めてチェックを徹底するということになる。</p>
市長	<p>電子決裁だからチェックがおろそかになっているということは無いのか。</p>
加藤副市長	<p>普通の起案であっても同様のことが起こっている。</p>
市長	<p>起案を見ても、文章になっていないのではと思われる文章もあり、基本的なことがおろそかになっているのではないかと感じることもある。 監査委員からも指摘があったが、契約事務についても同様である。特に、新たな契約の場合は、正確な事務執行に努めてもらいたい。ちなみに契約事務も研修しているのか。</p>
総務部長	<p>職員研修のメニューにはある。</p>
加藤副市長	<p>契約事務についてはどういった事例が生じているのか。</p>
監査委員事務局 長	<p>監査指摘事項にも掲載しているが、例えば、随意契約を適用する条項の誤りや、契約書の書式が整っていないもの、仕様書の内容が誤っているもの、など様々な事例がある。</p>
市長	<p>契約課に相談する場合は、出来上がった後に相談するのではなく、出来るだけ早めに行ってほしい。 次に、福祉部に移る。 まず、「児童発達支援体制整備」について、児童発達支援センターの建設は、資材高騰によってストップしているが、今後も建設費が下がることは期待できないと思う。現在予定している事業者で</p>

	は実施出来ないのではないか。
福祉部長	建設費が下がることは期待できないし、実際に部内でもそういった評価もしている。幼稚園、保育園の再編計画がある程度固まってきたので、先日議論にもなったインクルーシブ教育をどう進めていくかという点を含め、地域福祉課として、どのような進め方をするかという段階である。
市長	計画の見直しをしなければならない。法律的にはいつまでに建設、という決まりはないのか。
福祉部長	通知の中ではあるが、法律としては無い。
市長	「地域包括支援センターの業務委託」は可能なのか。
福祉部長	記載の課題3つはクリアしないといけない。 川東と上部東の圏域は、前向きに検討してくれているが、具体的な課題解決方法の見通しが立っていない状況である。
市長	4圏域を同時に委託しないといけないのか。
福祉部長	条件が整ったところから順番に行っていく。
市長	「健康寿命の延伸」については来年度、体制の見直しも行うようだが、もう少し具体的な書きぶりで、市民にもっと分かりやすく実施しないと、せっかく事業を実施しても分かってもらえないと思う。
福祉部長	この件について補足すると、この1年間本市では「糖尿病重症化予防と低栄養防止」をターゲットとして設定していたが、県は「心臓病と高血圧」を優先して実施しており、本市とは方向が違っていた。これらは本市での死亡率も高い項目なので、方向転換しながら、ただ、糖尿病と低栄養についても裾野の広い問題なので、両方を実施していく方向で今年度末、また、来年度に向けて組立の修正を行っていく。

市長	<p>両方やるのは良いと思う。施策は、漠然としすぎず、ターゲットを決めて実施して行ってほしい。</p> <p>急患センターのスケジュールは遅れているのではないか。</p>
福祉部長	<p>そうである。もう一度見直さないといけない。</p>
市長	<p>「三市による小児救急体制の整備」も急患センターの開設と合わせないと難しいのではないか。</p>
福祉部長	<p>11月と先週、合わせて2回、3市での協議を行った。コロナ禍により、各市の小児救急体制が3市の集約を待ってられないという状況になり、それぞれが工夫してきた経緯があり、2～3年前と今とでは状況が違うということがはっきりした。</p> <p>それを踏まえ、1～2月には庁内協議を行っていきたいと考えている。</p>
市長	<p>(こども局については質疑なし)</p> <p>次に、市民環境部について何か質問は無いか。</p>
加藤副市長	<p>マイナンバーカードを取りに来ていない人はどれくらいか。</p>
市民環境部長	<p>申請が7割で交付が6割なので、約1割の人が取りに来ていない。</p>
加藤副市長	<p>「マイナンバーカード交付率の向上」の項目に、受領に来ていない人の督促強化と書いているので、徹底してほしい。</p> <p>国は受領していない人のデータを除いて交付率を算定するという話がある。今後は7割を超えるかどうかが基準になるので、忙しいとは思いますが効果的な督促を考えてほしい。</p> <p>次に、危機管理課の「災害に強い地域づくり」で書いてある「災害警戒本部設置時に参集する職員を対象とした通信訓練」を何度か実施しているが、返事をしていないところもあると聞く。各部署局長は、きちんと対応するように指示すること。</p>
市長	<p>校区コミュニティは中萩について記載がないが、出来るということが良いのか。</p>

市民環境部長	<p>中萩も宮西も計画が大詰めで、2月頃を目標に新しい組織を立ち上げる予定で準備している。</p> <p>宮西は順調に行っているので、中萩も追いかけている。</p>
市長	<p>確認だが、令和5年度は今年度立ち上げることができた校区を試行し、その後令和6年度に次の校区に広げていくという認識で良いのか。</p>
市民環境部長	<p>令和5年度で1年間かけて実証するので、検証と準備は令和6年度になり、次の校区は令和7年度からという予定である。</p>
市長	<p>半年の実証で検証できるのではないかと。スケジュールについては考え直してほしい。</p> <p>「国際化の促進」の項目で、今年インドネシアを訪問したが、インドネシアから新居浜には来年来るのか。</p>
加藤副市長	<p>クブラヤ州政府の人が来るのは、インドネシアの国内状況から考えると難しいと思う。</p> <p>引き続きオンラインで情報のやり取りをしている。</p>
教育長	<p>インドネシアとどういう国際化を進めていくのか。</p>
加藤副市長	<p>まずは人的交流をターゲットに置いている。実務研修生ではなく、実際に新居浜で企業に採用してもらえるレベルの子。現地の大学の工学部に、日本で博士号を取った先生がいて、もちろん日本語も出来る。なおかつロボット工学を専攻しているので、例えば新居浜高専との交流を通して、インドネシアの学生たちに新居浜の企業を紹介して、採用するというようなところを最終的に出来るかもしれない。</p> <p>もう1つは福祉の人材。これまでのような単なるマンパワーとしての採用ではなく、実際に新居浜に来て、日本語研修もして、正式な福祉の資格を取れるようになると一番良い。</p> <p>最後に産業。首都がジャカルタからカリマンタン島に移るので、これから先、カリマンタン島での産業というのがいろいろな面出てくるだろうと思うので、その際のきっかけ作りが出来たら、と考えている。</p>

市長	アメリカとの国際交流はどうなっているのか。
教育長	来年度までの協定だが、コロナ禍の影響で難しいところでもある。
市長	やめるのか。
教育長	その判断は、現時点ではまだ難しい。 インドネシアは義務教育レベルで交流できる可能性はあるのか。
加藤副市長	現地の環境を考慮すると、高専と現地大学との交流が現実的だと考える。
市長	次に、「市民活動、ボランティア活動の活性化」について、具体的なことが見えてこない。マッチングシステムは出来ているように思うのだが、実績はあるのか。
市民環境部長	あまりない。コロナの影響もあり、ボランティアを募集する事業自体が出てこないということもあり、広がっていないと考えられる。
市長	「マイナンバーカードの交付率の向上」では、先ほども申請率70%と言っていたが、交付税措置は問題ないということか。
企画部長	国がどう算出しているかが分からないが、先日、国から示された申請率が65%だったので、こちらで認識している数値と5%の開きがある。市の数値は、申請数の累計なので、おそらく転出や死亡が反映されていないのではないかと考えられるので、その開きの分は申請率を伸ばさないといけない。
市長	次に「災害に強い地域づくり」について、地区防災計画は、まだ8組織のままとのことなので、この作成を急いでいただきたい。加えて、議会質問でもよく出ている個別支援計画の作成も急ぐこと。 次に、環境エネルギー局について何か質問は無いか。
原副市長	10月からの有料化以降、持込台数の量と収集ごみの推移をホー

	ムページで分かりやすく掲載してくれているが、大型ごみの回収申込数は減っているのか。
環境エネルギー局長	申込数はやや減っている。件数は出しておらず収集量しか分からない。
市長	定期収集量は減ったのか。
環境エネルギー局長	それほど変化していないが、大型ごみの収集量が減った分は減っている。
加藤副市長	有料化以降は清掃センターが混雑することはないのか。
環境エネルギー局長	例年だと12月は混雑しているはずだが、9月末までに先に捨てているようなので、去年に比べ、持込台数は大幅に減少している。
市長	「脱炭素化施策の推進」で、マイクログリッドの申請はもう行わないのか。
環境エネルギー局長	次の公募の際に申請するつもりである。
市長	「新たな3R体制の構築と推進」で、食品ロスの削減推進計画の策定とあるが、案は出来ているのか。
環境エネルギー局長	今年中に市長、副市長に説明したいと考えている。
市長	他に無ければ、次に経済部について何か質問は無いのか。
加藤副市長	「交通体系の整備・充実」の項目、川西のデマンドタクシーは令和5年1月に出来るのか。
経済部長	今日も分科会の開催を予定しており、何とか1月頭で実施できるように動いている。

加藤副市長	「別子山地区・大島地区の振興」に記載があるホームセンター向けの提示価格が合わず断念したという件は、木材センターの提示額が高かったのか。
経済部長	そうである。ホームセンター向けの平米当たりいくらか、というものを試算させると、金額の乖離が大きかった。
加藤副市長	<p>これまで木材センターは特定のやりとりしか無かった。一般で売るということは競争社会になるので、品質も大事だが、値段が重要である。合理化を行わないとその値段にはならない。新しい機械も入れるので、生産コストを下げて、そういったところで対応できるように意識してもらおうよう、伝えてほしい。</p> <p>次に、「市独自の農林水産業の確立」で、担い手補助金で予算要望とあるが、サーモンを本当にブランド化させたいのであれば、もっと考えてやらなければならないのではないか。</p> <p>県との連携といっても、県水産課では、養殖の技術など、側面的な支援はしてくれる。でも販売戦略は本人が行うことになるので、そこを助けてあげないといけない。去年は別の事業者が出口戦略を確保してくれていたから売ることができたが、今年は事情が違うので、親身になって考える必要があると思う。</p>
経済部長	担当課とも再度協議する。
加藤副市長	ふるさと納税の返礼品は何が1番多いのか。何割を占めているのか。
経済部長	タオルが7割以上を占めている。
加藤副市長	本来の新居浜市の産品をもっと出していかなければならないと思う。1品でもいいので、こだわったもの、例えばそれが新居浜サーモンでもいいので、それらと関連付けて考えていく必要があると思う。
市長	「人材確保の推進」で様々なイベントを行っているが、就職の実績は掴んでいるのか。

経済部長	アンケート調査は後追いで全て実施している。
市長	効果はあったのか。
経済部長	一定の効果はあったと考えている。
市長	その集計を見せてほしい。効果があつて続けるものと、やめるものを考えないといけない。 「交通体系の整備・充実」の項目の1月から開始する川西のデマンドタクシーの利用方法は上部、川東と同様か。
経済部長	同様である。基本的には川西エリアの中だけで、電話とアプリで利用できる。
市長	運賃100円で実施している富岡市の事例は調べているのか。
経済部長	調べてはいる。
市長	タクシー会社もバス会社も巻き込まないと難しいだろう。 富岡市は新居浜に比べて人口が少ないから出来るのかもしれないが、今のままではデマンドタクシーも今後継続するのが難しい事業だと感じる。 次に「別子山地区・大島地区の振興」について、木材センターの今後の見通しはどうか。
経済部長	3期連続赤字は間違いない。今年は10月まででいうと黒字が出ている。
市長	別子の観光交流施設は、どのような方向で考えているのか。
経済部長	まずは既存施設の改修からという方向で、新施設については、住民との意見交換も含めて、今後相談していく必要があると思う。
加藤副市長	アンケートという話もあったと思うが、住民説明会とどちらが先か。

経済部長	<p>こういうことを考えている、という説明をして、アンケート調査を後日回収するという予定である。</p>
市長	<p>次に、建設部に移る。</p> <p>「都市計画道路網の計画的整備」で11号バイパスについて、光明寺の用地は難しいと聞いている。船木から進めるようにしなければいけないのではないか。</p>
建設部長	<p>船木は既に説明会も済み、順次進めている。</p>
市長	<p>河川整備について、国領川は来年度の予定はどうなっているのか。</p>
建設部長	<p>今年度で基本方針が策定される予定、それに伴い来年度整備計画を策定されると聞いており、先日、協議会の立ち上げを行った。今後は、問題を整理しながら地元の方々にも周知していく必要があると考えている。</p>
市長	<p>東川も含めて国領川も不法占拠について、市である程度は解決しないと難しいと思うので、よろしく願います。</p>
加藤副市長	<p>「JR新居浜駅南地区の基盤整備や適正な土地利用の推進」で、駅南の市街地整備を行うよう県から指導あり、とあるが、これはどういう意味か。</p>
建設部長	<p>区画整理か、地区計画を立てなければ、ということ言われているが、それは難しいという話をする予定である。</p>
加藤副市長	<p>もともと駅前の区画整理の時に計画は入っていたのか。</p>
建設部長	<p>入っていない。</p>
原副市長	<p>事業化するという決定はしていないが、大きな基本構想としてはあった。</p>
市長	<p>(議会事務局、上下水道局については質疑なし)</p> <p>教育委員会について何か質問は無いか。</p>

原副市長	「小中学校施設の中長期計画の見直し」での小中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画は、令和4年度の策定ではなく、令和5年度になるのか。
教育委員会事務局 局長	今のスケジュールでは、1月に庁内合意を経て、2月に会派説明をした後にパブリックコメントに入る。パブリックコメントの期間は少し長めの1か月半程度は取りたいので、早くても3月末になると考えている。
加藤副市長	パブリックコメントの結果、計画の一部手直しもあり得るのか。
教育委員会事務局 局長	そうである。ただし、今回は基本計画であるため、あまり具体的なことは入っていないので、それほど大幅な修正が必要な意見は出ないと考えているが、期間は長めに取りたい。
加藤副市長	1か月では足りないのか。
教育委員会事務局 局長	1か月とするのか、1か月半とするのか、検討中である。
原副市長	当初の目標では、8月までにエアコンの設置計画を策定することだったが、それはどうなっているのか。
教育委員会事務局 局長	遅れている。現在、他市事例を確認し、進めている。
加藤副市長	「小中学生の学力、体力の向上」について、もう少し分かりやすい目標にはならないか。結果はどのように好評されているのか。
教育長	平均より上が○校という出し方ではない。この科目は全国よりやや下、とか、この分野は強い、弱い、といった内容である。新聞では県が公表した市町別の数値をもとに、矢印で↑とか↓とか出ている。 基本的には過度の競争ではなく、指導方法の改善のためにしているというものである。

市長	<p>すぐにどうにかなる話ではないと思うが、常に考えていただきたい。</p> <p>次に、消防本部に移る。</p> <p>「警防体制の充実」の項目で指令システムの3市共同運用というのは前向きな話か。</p>
消防長	<p>来年度には基礎調査を行うことで合意している。</p> <p>今治市と上島町は抜けたので、西条、新居浜、四国中央の3市である。</p>
市長	<p>「消防団の組織再編」の角野分団詰所の統合については、団員にもきちんと説明しているのか。</p>
消防長	<p>基本的に分団長以下の幹部の方の同意を取っている。その意見を聞いた後に、各分団長等にも話をし、年明けには、丁寧な説明をする予定である。</p>
市長	<p>団員に納得してもらえるように丁寧に説明すること。</p> <p>(農業委員会、港務局については質疑なし)</p> <p>次に選管についてだが、商業施設での期日前投票所について、早急に前向きに検討してほしい。</p>
加藤副市長	<p>人員配置の問題はあると思うので、例えば、期間中ずっとではなく、土日だけでも良いと思う。</p>
市長	<p>プロジェクトチームの成果については、予算査定の際に、財政課から結果を踏まえて見せてほしい。</p> <p>質疑は以上となる、重要事業及び懸案事項に関する進捗状況については、年度末に、今年度の取り組み結果について報告をお願いする予定である。本日、報告いただいた中で、取り組みが遅れている項目については、部局長の強いリーダーシップのもと、計画的、かつスピード感を持った対応に努めていただくよう、お願いする。</p>

市長

次に、「SDG s 未来都市選定に伴う今後の取組について」、企画部から説明をお願いします。

企画部長

企画部から議題について説明する。

SDG s 未来都市選定に伴う今後の取組、庁内における連携についてである。ご承知のとおり、本年5月に本市がSDG s 未来都市に選定された。

現在、県内では、本市を含め、3市がSDG s 未来都市に選定されているが、松山市、西条市では、選定後、SDG s の推進体制を強化するため、専門部署の組織を立ち上げている。そうした状況も踏まえ、来年度から総合政策課内にSDG s 推進するための専門の係の設置を予定している。

また、松山市、西条市ともに、選定後、SDG s に関して、官・民が連携・協力して取組を推進するため、「推進協議会」を立ち上げており、本市でも、来年度から官民連携の推進協議会を立ち上げ、活動を開始したいと考えている。

「推進協議会」には、企業や教育機関、各種団体など、幅広い分野に参画を呼び掛けたいと考えている。「推進協議会」を設置する背景としては、市内には、経済、環境、社会・教育など様々な立場でSDG s を推進している企業や団体があるが、意外と分野が違えば接点がなく、お互いの取組を知らないという現状があると考えている。

そこで、これまで接点がなかった企業・団体等がお互いを知り、情報共有する場が必要であると考えており、そのために、「推進協議会」を設置する。協議会では、各種セミナー、ワークショップなどを定期的に行うほか、新たな連携・プロジェクトが生まれる場にしていきたいと考えている。令和5年度から推進協議会の活動を開始できるよう、現在、愛媛大学、松山大学、新居浜高専、教育関係者等との意見交換を鋭意行っており、来年の2月には、協議会の立ち上げを対外的に宣言したいと考えている。

また、協議会の立ち上げにあたっては、「令和2年度から制度を開始しているSDG s 推進企業」や「ESDの推進に尽力いただいている教育機関等の関係者」などが中心メンバーとなると考えている。

次に3ページ目、推進協議会の具体的なイメージ、設置目的について、下に①、②、③と記載しているが、まず、①協議会での

セミナー、ワークショップでSDGsに関する先進的な取組や本市の課題を学んでもらい、②そのうえで、参画する団体間の取組を共有してもらい、さらに、③分野を超えた団体間で連携して、地域課題の解決に向けた新たなプロジェクトに取り組んでもらう、それを促す場にしていきたいと考えている。

次に4ページ目になるが、そうした姿を目指し、協議会等を進めていくためには、専門家の助言も受けながら、協議会を運営していく必要があり、推進協議会の下に、幹事会、ワーキンググループを設けて、効果的に取組を推進する体制を整えたいと考えている。

総合政策課に設置を要望しているSDGs推進係（仮称）が事務局となって、各分野の関係課と連携しながら、取組を進めていきたいと考えているが、事業を進めていくためには、庁内全体の協力・連携が不可欠となる。

5ページ目に記載している協議会設置に向けたスケジュールでは、今年度中に立ち上げの準備を進め、来年度から活動が開始できるよう進めていきたいと考えている。

まず、本日の庁議において、協議会の設置について、各部局にお知らせしたうえで、年明け早々に、協議会への参画を呼び掛ける企業や団体について、各部局でこれまでつながりがあるSDGs関連の取組を推進している団体等をリストアップしてもらいたいと考えている。

また、市役所では様々なSDGs関連の事業・イベントを実施しているが、部局ごとに情報発信しており、市として、一体的に、全庁的にSDGsに取り組むという姿勢が効果的に発信できていないという現状があると考えているので、今後においては、個々の課における情報発信も継続しつつ、総合政策課にも情報を共有していただき、ホームページやSNS等で、市役所として、SDGsの取組を一元的に発信していくための体制を整えたいと考えている。そうした情報発信にかかる今後の連携体制についても、年明けにお願い、通知させていただく。

最後にスケジュール的なことだが、左の欄に主な予定を記載しているが、2月12日に四国ESDフォーラムという、主に教育・環境分野における大規模なSDGsのフォーラム（四国のブロック大会）が新居浜市で開催される。

このイベントは、新居浜市、新居浜市教育委員会が共催を予定しているが、四国各地から、多くのSDGsの関係者が集まる機

	<p>会であるため、そこで、来年度以降の本市のSDGs推進の取組、協議会の立ち上げを宣言し、広く関係者にPRし、参画を呼び掛けたいと考えている。</p> <p>その後、3月末までの間に、次年度の協議会活動開始に向け、参画団体を募集し、来年度以降、本格的に協議会、幹事会を運営していきたいと考えている。</p> <p>最後のページに参考資料をつけている。これは、国にSDGs未来都市の申請をする際に、SDGsに関する本市の現状をまとめたものである。経済、社会、環境の3側面において、すでに取り組んでいる事業等が赤色の丸で書かれている。真ん中の赤線で囲んだ取組が、未来都市選定後に三側面の連携を強化するために取り組む内容で、今回の協議会の設置についても記載している。</p> <p>また、SDGsに関連した地域課題についても、分野ごとに黒字で記載している。時間があるときに、全体像を確認いただきたい。</p> <p>年明けに、総合政策課から具体的な通知をするが、新居浜市全体でのSDGsの推進は、全庁的なプロジェクトであると認識していただき、ご理解、ご協力のほど、よろしく願います。</p>
市長	先ほどの説明について、何か質問は無いかな。
こども局長	推進協議会に募集する団体、企業は、市内の企業のみが対象となるのか。
企画部長	基本的には市内企業になるが、個々の事例については、相談していただきたい。
市長	SDGsについて、職員の意識付けをするためにも、予算の施策事業に該当する番号を入れてはどうか。
企画部長	今回は予算要求の時点で全ての事業に番号を入れている。

3 協議事項
(なし)

4 連絡事項
(なし)

5 その他

市長	<p>そのほかに何か連絡しておくことは無いか。</p>
企画部長	<p>企画部から2件連絡する。</p> <p>まず、新居浜市広報戦略について、簡単に説明させていただく。</p> <p>新居浜市広報戦略については、本市の持つ広報媒体を効果的、効率的に活用すること、また、マスメディアの活用を強化することなどによって、的確にターゲットである市民等に情報を届けることを目的として、令和4年11月17日に策定した。11月25日には各課所室長を対象に職員研修を実施し、内容の周知を図ったところである。</p> <p>については、現在、広報戦略に基づき、令和4年度広報計画シートの作成と、課所室ごとにSNS担当者を指名させていただくことについて、12月20日付け事務連絡で依頼しているので、期限の12月28日までに提出をお願いします。</p> <p>職員一人ひとりが広報の意義や目的を再認識し、広報に対する意識改革を行うことで、市民サービスの向上と広報ターゲットの行動変化につなげられるよう、協力をお願いします。</p> <p>次に、令和5年度当初予算について、現在査定作業中であるが、現在の危機的な状況を、再度、認識していただきたいので説明する。</p> <p>予算要望の段階で、歳入が480億2,635万1千円で、歳出が528億6,906万9千円、差し引き48億4,271万8千円となっている。これに、財政調整基金の残約5億4千万円ほか、減債基金など使える全ての財源を繰り入れたとしても、約22億8,500万円の不足が生じている。</p> <p>ここで理解していただきたいのは、現在これまでにない厳しい査定をしているが、それでも10億円以上不足しており、このままでは当初予算が編成できない状況となっている。</p> <p>おそらく、皆さんは、なんとかなると思っているかもしれないが、今のままでは予算が組めない状況であるということを再認識していただきたい。</p> <p>今後さらに厳しい査定が必要となっているので、各部局において、いろいろな無理もお願いすると思うが了承いただきたい。</p>
市長	<p>他に無ければ、以上で令和4年度第8回庁議を終わる。</p>